

2000人の ホームページプロジェクト

平成10年

早川町民全員をホームページ上で紹介しようという企画。町民一人一人への綿密な聞き取り取材を実施し、その人が歩んできた歴史や、その人が持つ暮らしの知恵や技を収集するのが目的。平成10年から始まったこのプロジェクトは、すでに約1000人に取材を敢行し、ホームページ上に紹介している。取材を担当するのは主に首都圏から口コミで集まった大学生たち。年に3、4回取材期間を設け、町内各家庭に突撃取材を行っていく。上流圏に暮らす人々の魅力を今後も継続的に発信していく予定。

また、これまでに取材に関わった学生は100人以上にのぼり、研究所を支える重要な人的ネットワークにもなっている。

あなたのやる気応援事業

平成14年

町民から、地域の資源を活かした商品開発や、自分が持っている技術や知恵を活かした起業のアイデアを募集し、審査に通

て、町の応援団となっている。

このサポーターに対しては、隔月で発行する会報「やまだらけ」を送付している。この会報によって、サポーターは早川のとおき情報や新鮮な情報を知ることが出来る。また、「早川旬の直送便」として、市場にはなかなか出回らない農産物・加工品などを会員特別価格で購入できる。そして一番の魅力は「やまだらけツアー」。早川の魅力を存分に体験できるツアーを企画。「あなたのやる気応援事業」に取り組んでいるグループが、ガイドや講師になって早川の魅力を教えてくれる。古い民家を訪問したり、他では食べられないような郷土料理を食べたりできるなど、旅行会社の旅行では味わえないような体験が満載で好評を博している。

学生研究員助成制度

平成8年

早川町を題材として調査研究したい学生を募集し、支援する事業。5万円の研究奨励金の他、滞在場所・機材・情報なども提供している。これまでに7大学から17人の学生が、のべ22本の



早川町にみる「まちづくり」のあり方

～早川の良さを守りながら、早川で暮

らし続けるために～

NPO法人

日本上流文化圏研究所が取り組む まちづくり実践

- ・2000人のホームページ
- ・あなたのやる気応援事業
- ・早川サポーターズクラブ
- ・学生研究員助成制度
- ・フィールドミュージアム事業



ったものについて資金的な面も含め全面的にバックアップする事業。平成14年から16年まで募集を行い、計24グループが助成を受け活動している。

グループの中には、野鳥公園内の自然観察路を整備し、自然と人との関わりを考える環境教育の場をつくる「自然と歴史の再発見コースの整備」や、伝統の赤沢そばを提供できる手打ちそばの店を開く「これが赤沢そば・多くの人に知ってもらおう」など、様々な活動に対して研究所がサポートしている。

実際に、休日限定ながら開店が実現したグループもあり、着々と成果を上げている。

町には何かをやってみたいが、なかなか第一歩を踏み出せない人も多い。背中を押してあげることで、地域の活性化にもつながっていると感じる。

早川サポーターズクラブ

平成16年

町外の早川ファンに、町の取り組みを応援してもらおう制度。会費を集めて研究所が行う事業の資金に充てる。現在、サポーターは270人が登録されている。

論文を書いている。研究の中には、中山間地における空き家の管理に関するものや、生活用水をテーマとしたもの、まちづくりに関するもの、獣害問題を扱ったもの、子どもの学習環境に関するものなど、調査対象は多岐にわたり、その成果の一部は、町の施策にも反映されるなどの効果が見られている。

早川フィールドミュージアム事業

平成15年

早川町総合計画のシンボル施策に位置づけられている事業。地域の歴史や文化を地域住民自らが学び、保存や継承を行っていく、地域をまるごと博物館と捉えた活動。「地域の資源を活かした、地域住民の主体的な活動による、町外との交流に活路を見出す活性化」に向けた試みを、全町レベルで取り組んでいくための仕かけでもある。

平成15年からフィールドミュージアム運営委員会を立ち上げ、具体的な検討を重ねている。運営委員会は役場職員、観光施設担当者、あなたのやる気応援事業のグループ、民間の観光業者など40人で構成される。